

# キラキラ

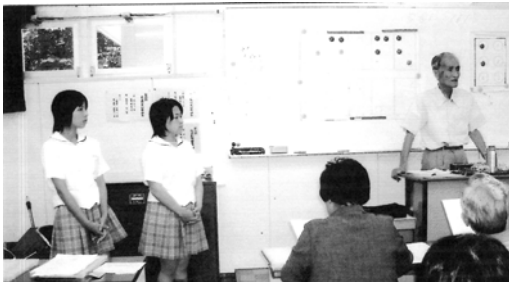
…『キラキラ』の由来…

NPO・ボランティアなどの活動が活発になり、多くの市民の顔がキラキラ輝くようにという願いを込めました。

なくそう迷惑行為！モラル・マナーアップ北九州

NO:63 平成19年7月15日

## つぶやきサロン



### 一視覚障害者の方に愛(e y e)の光りを一点訳 すみれ会

会長 臼杵 克正さん

点訳をご存知ですか？

まず、特殊な点字文法をマスターして、点字を使いこなせるようになるまでには、大体3～5年かかります。15、6年前までは、点字盤に紙をはさみ、一つひとつの文字をピンで刺しながら打っていく作業だったので、本当に辛抱がいりました。

ところが今では、パソコンの点訳ソフトが導入され、普通に打ち込んだ文章が瞬時に点字表記に変換されるようになり、作業が10分の1に短縮され、ずいぶん楽になりました。

北九州市には1,000人近くの視覚障害者がいると言われていて、その方々の力になりたいと、「すみれ会」は点訳奉仕を目的とするグループとし

て、昭和43年に発足しました。

今年で、39年目を迎えます。毎月、第2と第4土曜日の午後、北九州市市民活動サポートセンターで活動しています。

北九州市の点字図書館に納めた点訳図書は全部で2,500冊を超えて視覚障害者の方から喜ばれ、お礼の電話やお手紙を頂いています。最近ではお経の点訳を頼まれ、お寺の住職にその言葉の意味を聞きに行ったり、また、料理本の点訳ではどこまで点訳したらよいか迷ったりしましたが、やりがいはありました。点字カレンダー・点字時刻表・点字年賀状等も毎年、作成しています。

また小学校・中学校・高等学校・市民センター等で講師として、点字の基礎を教えています。

今後も視覚障害者に愛(e y e)の光りとどけ、さらに後継者の育成にも力をいれていきたいと思っています。

# 第68回・サポートセンターの日/2007・6・25

…「地域とNPOの関係」というテーマで2団体にお話をいただきました…

## 特定非営利活動法人コネクト 理事長 岩下 均さん

私は障害者支援を目的に、「癒とりの里」という障害福祉サービス事業所を運営しています。自立支援法ができ、無認可での施設の存続が困難だろうという思いで、NPO 法人を立ち上げました。

私達の使命は障害者の自立と社会参画をどう支援していくかということに尽きます。

社会的弱者と言われる障害者の居場所作りには地域のサポートが必要です。それは、子ども・高齢者にも同じことが言えます。私の母親が病気になったとき、地域の人にお世話になり、その必要性を痛切に感じました。

現在、「癒とりの里」には知的障害、精神障害、身体障害の方々が障害の違いに関係なく30人ほど通っていますが、同じ障害でもその程度は人によって異なります。施設ではその人の能力を最大限引き出して、可能な限りできることをしてもらおうように努力しています。

また、障害を持つ子どもが年をとれば、親もそれだ

け年をとって、子どもの面倒をいつまでも見られません。自立できる道を模索しなければいけませんが、精神的にも経済的にも自立の道は厳しく、特に精神障害者の方は障害手帳の申請さえしていない人が多数います。

うつ病などは本来、誰もが罹りうる病気です。私たちはそのことをその人の個性だとみますが、社会はその様にみてくれないのが現状です。

私たちの施設では、行政ができないところを担おうとしていますが、安い給料でスタッフを確保するのは難しく、内容の充実も急がれます。こういった面でも地域の力が必要だと考えています。

年をとれば誰もが機能不全に陥り、ハンディキャップを持つ人と変わらなくなります。特別な人のことだと思わず、自分たちのこととして地域の人たちが一緒にになり、サポート体制を整え、基盤作りをしていく必要があります。これはこれからの課題だと思っています。



発表者  
(右) 岩下均さん  
(左) 中野裕子さん



## 黄金まちNPOステーション 副理事長 中野裕子さん

私たちの活動は、NPO 活動に理解がある黄金町商店街の家主さんの「シャッターの降りた店舗があるから、地域に役立つような場所として使って下さい」というひと言で始まりました。地元住民の高齢化と、郊外に大型駐車場付きの店舗が増えたため、街なかの商店街は空洞化が進み、空き店舗を抱え、寂しい状態のところが増えていきます。

そこで、資金難のため、自宅を事務所兼用で使っているNPO 団体が多い現状から、NPOの共同事務所を作ろうと考え、多くの方の協力のもと、クモの巣だらけだった空き店舗をきれいにし、使える状態にしました。

また、NPOの共同事務所を開いている横浜市などへの視察も行いました。民設民営のNPO 共同事務所は全国的にも珍しいことがわかりましたが、共同事務所の開設は黄金町商店街の活性化と切り離せないと考え、スタートさせたのです。

活動を始めて1年の間に、共同事務所に入居する団

体同士、ステーションと団体、ステーションと商店街の方など、それぞれのつながりができ、お互いに理解を深めようとする動きが出てきました。

商店街のイベントがある時はお手伝いができる関係になり、イベント参加者が店で買い物をするなど、相乗効果が生まれています。商店街には約100の店舗があります。通りに沿ってバリアフリーになっており、惣菜屋さんも多いため、年配の方には特に便利な場所だということを改めて認識できました。

ステーションでは、商店街に訪れた人が気軽に休憩できるような場所を提供しようと「こがね交茶店」というフリースペースを作りました。また、多世代の交流を広げようと小学生を対象にした商店街のウォークラリーも開催しました。

今後は大学生の運営による喫茶コーナーも始める予定で、お茶のサービス等をして、「ふらっとステーションに寄ってみました」という人が増えることを願っています。



# 情報のひろば

イベント・ボランティア

## ◆第3回夏休み和太鼓教室◆

和太鼓で酷暑を吹き飛ばしてみませんか！！

お子さん、年配の方、車椅子を利用されている方、どなたでも参加できます。

- 日時：7月26日(木) 8月2日(木) 9日(木) 23日(木) ※いずれも16:30~17:30
- 場所：芦屋町山鹿公民館(芦屋町山鹿2862)
- 定員：20名程度
- 参加費：500円(バチ代として)
- 問い合わせ先：090-7449-1265(中西)
- 主催：<sup>なごか</sup> 瀧懸はまゆう太鼓



## 助成金

### ★NPO公益活動支援事業(愛称：きらきら)

NPO法人などの市民活動団体が行う専門性を発揮した取組や先進的な事業に対して、事業費の一部を助成します。

■北九州市内に主たる活動拠点を有するNPO法人、又は一定の条件を満たす市民活動団体が対象。

■助成額：1団体あたり上限50万円(助成対象経費の50%以内)

■募集締切：7月27日(金)(必着)

■北九州市総務市民局地域振興課市民活動支援係  
〒803-8501  
北九州市小倉北区内1-1北九州市役所本庁舎2階  
TEL:093-582-2111  
FAX:093-562-1307  
<http://genki365.net/gnkk03/pub/sheet.php?id=13740>

### ★「エイブル・アート・アワード」★ ～障害のある人たちの創作活動を支援する～

■制作支援の部  
障害のある人たちの絵画や立体造形などの創作活動を行っているグループを対象。

■総額50万円。1件あたり10万円の支援金

■締切：8月31日(金)必着

■エイブル・アート・ジャパン  
〒164-0003

東京都中野区東中野4-4-1ポレポレ坐ビル3F

TEL:03-3364-2140

FAX:03-3364-5602

<http://www.ableart.org/>

E-mail:office@ableart.org

ほかに展覧会支援の部もあります。

詳しくはお問い合わせ下さい。



## 北九州チャンピオンズカップ 国際車椅子バスケットボール大会

### ◆市民参加企画ボランティアを募集◆

10月に開催される「第5回北九州チャンピオンズカップ国際車椅子バスケットボール大会」に係る“市民参加企画ボランティア”を募集します。

- 応募方法：市民参加企画ボランティア申込書の提出(FAX可)
- 提出期限：定員になり次第
- 募集人員：10名
- 条件：・大会当日に活動が可能な方(10月26日~28日)  
・主に土日に活動が可能な方
- 活動予定  
・北九州ゴールドくんカップ5周年記念事業 8月26日(日)  
・北九州チャンピオンズカップ当日企画 10月26(金)~28(日)  
・その他 PR活動 主に土日、祝日



主催：北九州チャンピオンズカップ実行委員会事務局  
(北九州市障害者スポーツセンター内)  
TEL:(093)922-1432担当：月形・廣瀬

### ◆7月教養講座◆

～ご存知ですか?「サプリ」のこと～

機能性健康食品であるサプリメントの摂取について、サプリメントカウンセラーの講師がアドバイスします。

- 日時：7月26日(木)11:00~
- 会場：戸畑図書館2階会議室
- 参加費：無料
- 講師：田中 比呂子氏(サプリメントカウンセラー)
- 申込：要事前申込(FAX・TEL可)
- 主催：北九州市立戸畑図書館  
TEL:(093)871-3464  
FAX:(093)871-3466

### ★第5回 パートナーシップグランプリ大賞

NPOと企業のパートナーシップを確立し活性化することにより、新しい市民社会・新しい公共の実現に寄与することを目的に、社会に多様なインパクトを与えた特色ある「NPO(法人格の有無不問)と企業の協働事業」を募集します。

■パートナーシップ大賞:NPOに記念盾と副賞30万円、企業には記念盾を贈呈

■パートナーシップ賞:NPOに記念盾と副賞10万円、企業には記念盾を贈呈

■締切：8月15日(水)18時必着 E-mail可

■特定非営利活動法人 パートナーシップ・サポートセンター「パートナーシップ大賞募集係」

〒464-0067名古屋市千種区池下1-11-2  
1ファースト池下ビル4F

TEL:052-762-0401

FAX:052-762-0407

<http://www.psc.or.jp> E-mail:info@psc.or.jp

# NPO法人の申請・認証状況

## 北九州市のNPO法人の申請・認証状況

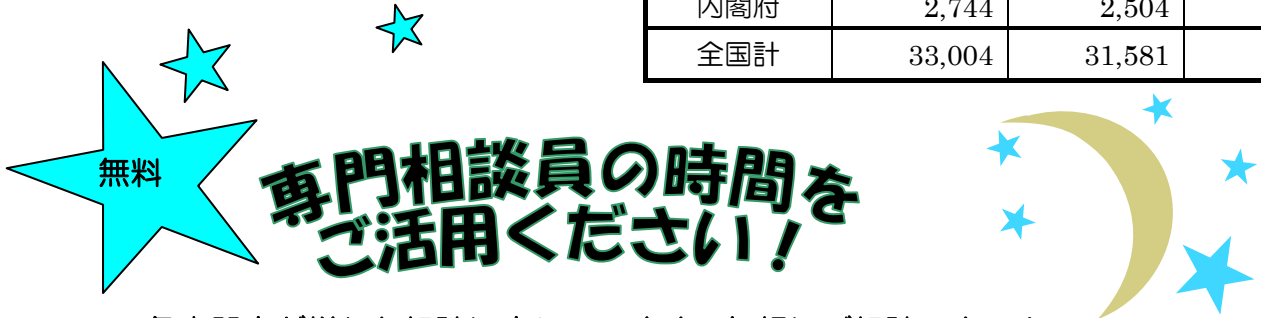
平成10年12月1日～平成19年6月30日現在

	受理数	認証数	不認証数
【北九州】	227	215	—

## 全国のNPO法人の申請・認証状況

平成10年12月1日～平成19年5月31日現在

	受理数	認証数	不認証数
都道府県	30,260	29,077	288
【福岡県】	1,065	1,022	1
内閣府	2,744	2,504	107
全国計	33,004	31,581	395



・・・各専門家が様々な相談に応じています。気軽にご相談下さい！・・・

<b>月曜日</b>	<u>内田満さん</u> スポーツ振興・NPO・健康づくり	<b>火曜日</b>	<u>中野裕子さん</u> 子育て・まちづくり・カウンセリング	<b>水曜日</b>	<u>須保絹江さん</u> ボランティア・カウンセリングなど
<b>木曜日</b>	<u>久保賢二郎さん</u> 子どもの健全育成、NPO 支援・HP 製作支援	<b>金曜日</b>	<u>高木健児さん</u> 市民活動のすべて	<b>土曜日</b>	<u>木村多磨子さん</u> 医療
<b>日曜日</b>	<u>田中美穂さん</u> 不登校・ひきこもり支援・セルフヘルプ活動	<b>第四金曜日</b>	<u>高田順子さん</u> 12:00～20:00 国際協力・海外ボランティア	<b>土曜日</b>	<u>元松加代子さん</u> NPO・NPO マネジメント

※ 時間【月曜日～土曜日】17:00～21:00 【日・祝日】13:00～17:00

### 北九州市市民活動サポートセンター

〒803-0814 北九州市小倉北区大手町11-4

北九州市立男女共同参画センター“ムーブ”1F

TEL 093-562-5309 FAX 093-562-5310

URL <http://www2.kid.ne.jp/v-net/> E-mail: support3@axel.ocn.ne.jp

市民活動サポートセンターでは、NPO・ボランティア活動に関する相談や情報の提供を行っています。また、団体間のネットワークづくりの促進のため、定期的な交流会を開催しています。

◆サポートセンターの日 …毎月テーマを変えて、交流会をしています。

◆専門相談員が相談に対応 …月～土曜日 17:00～21:00  
日・祝日 13:00～17:00

◆ミーティングコーナー …パーティションで仕切った無料の会議室。  
※要予約

◆掲示板スペース …団体や活動に関するチラシ等を掲示しています。

#### ◇利用時間◇

月曜日～土曜日 《10:00～21:00》

日曜日・祝日 《10:00～17:00》

【休館日】7月26日(木)・8月9日(木)・8月30日(木)

### 編集後記

「母たちの村」という映画を見ました。女性の割礼という非人間的なことが、今なお38の国々で残っているそうです。「NO」と声をあげた女性を中心に、村の様子や文化が描かれていて、とり上げているテーマは厳しいものでしたが、希望のある映画でした。

「不都合な真実」も希望の映画ととえたら元気がでます。私たちにできることを最後に具体的に提示してくれています。「小さいことからコツコツと」誰かが言っていましたね。 by yonnmin